



2023年3月10日(金)  
令和4年度ダイバーシティ就労モデル事業  
実践報告会

# ダイバーシティ就労 令和4年度実践報告

## ～法人紹介・事業概要～

---

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば  
事務局長 鈴木 由美

# 法人紹介

---



NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばとは

# NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばとは？



社会福祉法人生活クラブ

- ・千葉県内に80ヶ所近くの事業所（高齢者介護・保育・児童養護・障害者・困窮者相談支援等）を持ち従業員数1700名の法人
- ・地域貢献の一環で「働きづらさを抱える人の就労支援」を自分たちの事業所に受け入れをして支援することからスタート（2006年～）
- ・ステップアップしながら働く「**ユニバーサル就労（中間的就労）**」の仕組みを構築。これまでに約200名が働いている。

生活困窮者自立支援制度の**就労訓練事業のモデルの一つ**となる



NPO法人ユニバーサル就労  
ネットワークちば 設立

- ・ユニバーサル就労を社会福祉法人だけでなく、広く普及啓発していくために法人格を取得し千葉市中央区で事務所を設置（2015年4月）。
- ・風の村のユニバーサル就労支援を実施
- ・その他協力事業所のユニバーサル就労の導入支援を実施

※その他事業については後ほど…

# NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 事業概要

事業内容 (職員総数25名・事務局 千葉市花見川区)		
当事者・会社支援	ユニバーサル就労支援 (当事者・事業所) ダイバーシティ就労モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサル就労を利用したい当事者と受け入れたい会社のマッチング</li> <li>・受け入れ企業の開拓</li> <li>※風の村以外にも会員企業の支援を一部実施</li> </ul>
	千葉市生活自立・仕事相談センター花見川 (自立相談支援機関)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市委託事業</li> <li>・生活困窮者自立支援制度</li> </ul>
	千葉市就労準備支援室 (就労準備支援事業)	
	千葉市ひきこもり地域支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市委託事業</li> </ul>
	千葉市子ども・若者総合相談センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市委託事業</li> </ul>
その他	自治体コンサル・中間的就労導入支援	ユニバーサル就労導入支援等アドバイザー
	相談員研修事業	生活困窮者等はたらきづらさを抱えた人の支援する相談員研修、ひきこもり支援等の研修
	チャンス創造ファンド	交通費や就労に必要な経費を給付する独自制度
	千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク	就労支援部会担当
	調査研究事業	ユニバーサル就労評価指標作り (科研費等)



# ユニバーサル就労(UW)とは…

## <理念>

①「はたらきたいのに、はたらきにくいすべての人」が働けるような仕組みを作ると同時に、誰にとっても働きやすく、働きがいのある職場環境づくりを目指していく取り組みです。

そして、②より多くの人が、その人なりの働き方で社会参加できるユニバーサルな地域社会づくりを目指しています。地域社会の中で、自分なりの働き方で「わたしたちは会社ではたらいています」と実感できるシステムです。



# ユニバーサル就労の理念を実現する 具体的な仕組み(システム)

## <特徴>

- ①対象者を限定しない
- ②スライド式の就労ステージを構築
- ③業務分解
- ④外部支援者とのチームによる定着支援



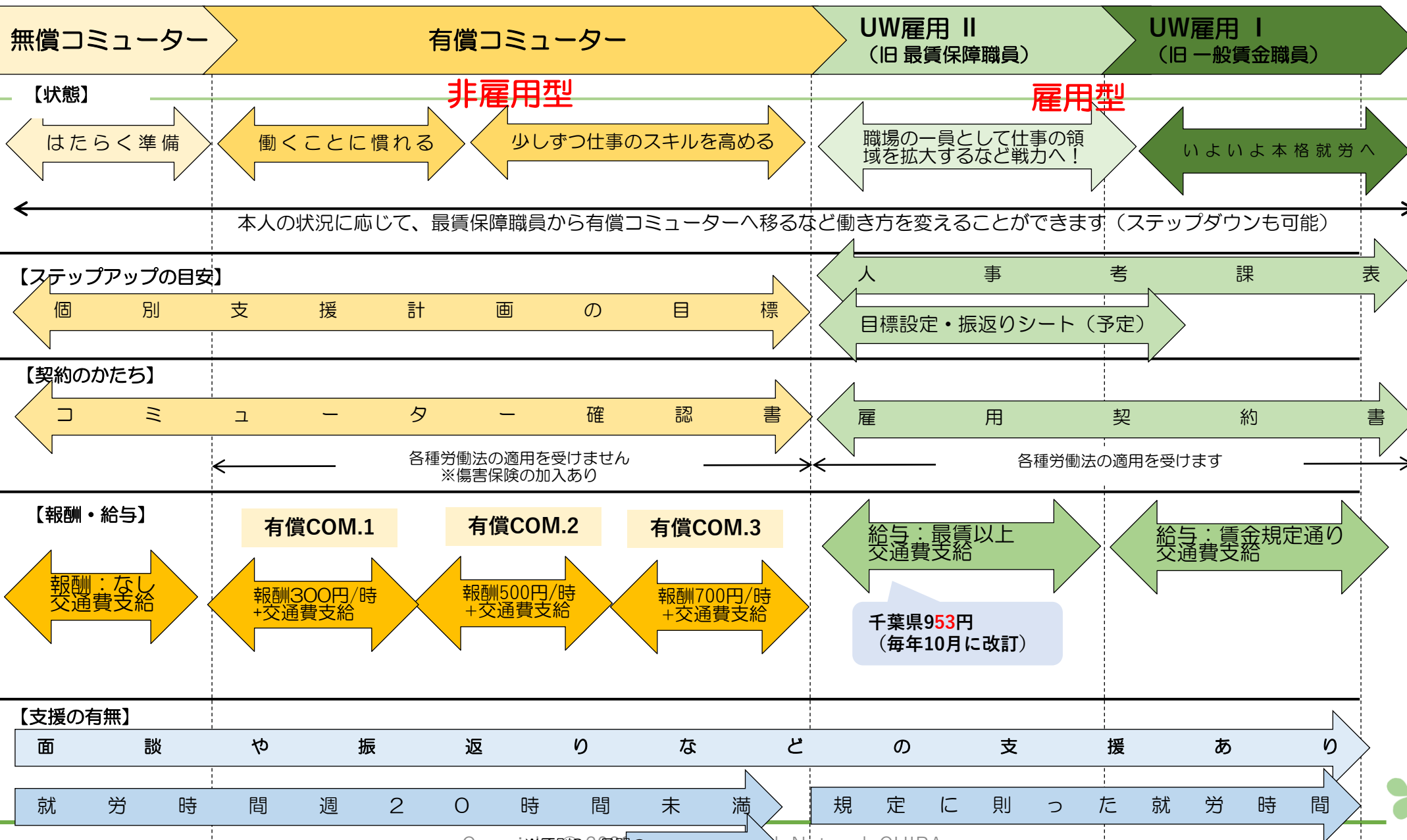
## <特徴② スライド式のユニバーサル就労システム> (2020年6月1日より開始)

① 面談

② 調整

③ 実習

④ 振り返りと今後について



支援が必要なくなった時点で一般就労へと移行

# ユニバーサル就労を取り巻く社会状況

## ◆共生保障という考え方

岩波新書「共生保障〈支え合い〉の戦略」宮本太郎著

～ユニバーサル就労とは、支援付き就労と一般就労をつなぎ連結し、多様な人々が力を発揮できる職場をつくっていくことである～として一般名詞として使われ、社会化しつつある。

## ◆富士市ユニバーサル就労推進条例・ユニバーサル就労推進基本法

議員立法で全会一致で成立した条例のため、行政の後押しがえられ、市独自の認定基準あり。企業連携の動きが民間だけのものよりも圧倒的に早く、市民に理解してもらえるメリットが大きい。

## ◆陸前高田市ユニバーサル就労支援センター

ノーマライゼーションという言葉のいない街、震災復興のキーワードの1つがユニバーサル就労

## ◆とばびと活躍プロジェクト(鳥羽市民就労促進による産業活性化事業)

観光地での働き手不足の解消と生活困窮者支援事業に連携した取り組み、旅館、ホテルの業務分解  
福祉×観光 鳥羽市民の就労促進(リクルート+UWNちば+行政)

## ◆大阪府 改正ハートフル条例(ユニバーサル就労条例も条例名候補)、行政の福祉化のさらなる推進

◆生活クラブ千葉、生活クラブ東京、大阪府社協、奈良県(協同福祉会)、相模原市(中心会、生活クラブ神奈川)、富山県(海望福祉会)、栃木県(ふれあいコープ、ユニバーサル就労ネットワーク栃木)…等でもUW



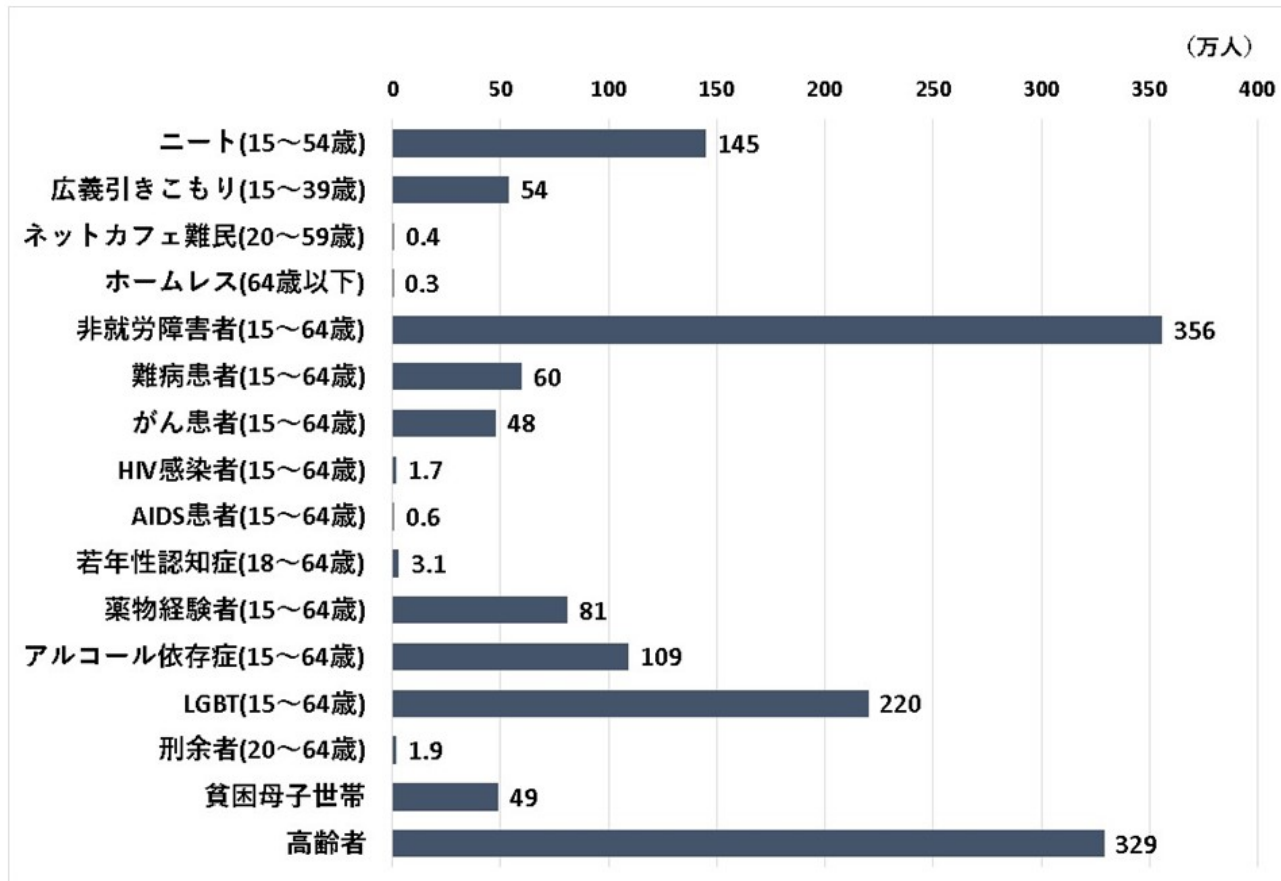
# モデル事業

～日本財団・WORK DIVERSITY！プロジェクト～

---

障害者手帳を持たなくても 多様なはたらきづらさに応える

# はたらきづらさを抱える人



・現在全てを一覧とした調査は存在しないことから、公表されている資料の数字を集積したものが下表。単純な積上で1500万人を超えると想定。中にはすでに働いている方、重複した要因にわたる方がありと推定され、その実数は約**600万人**とされます。  
(日本財団HPより)

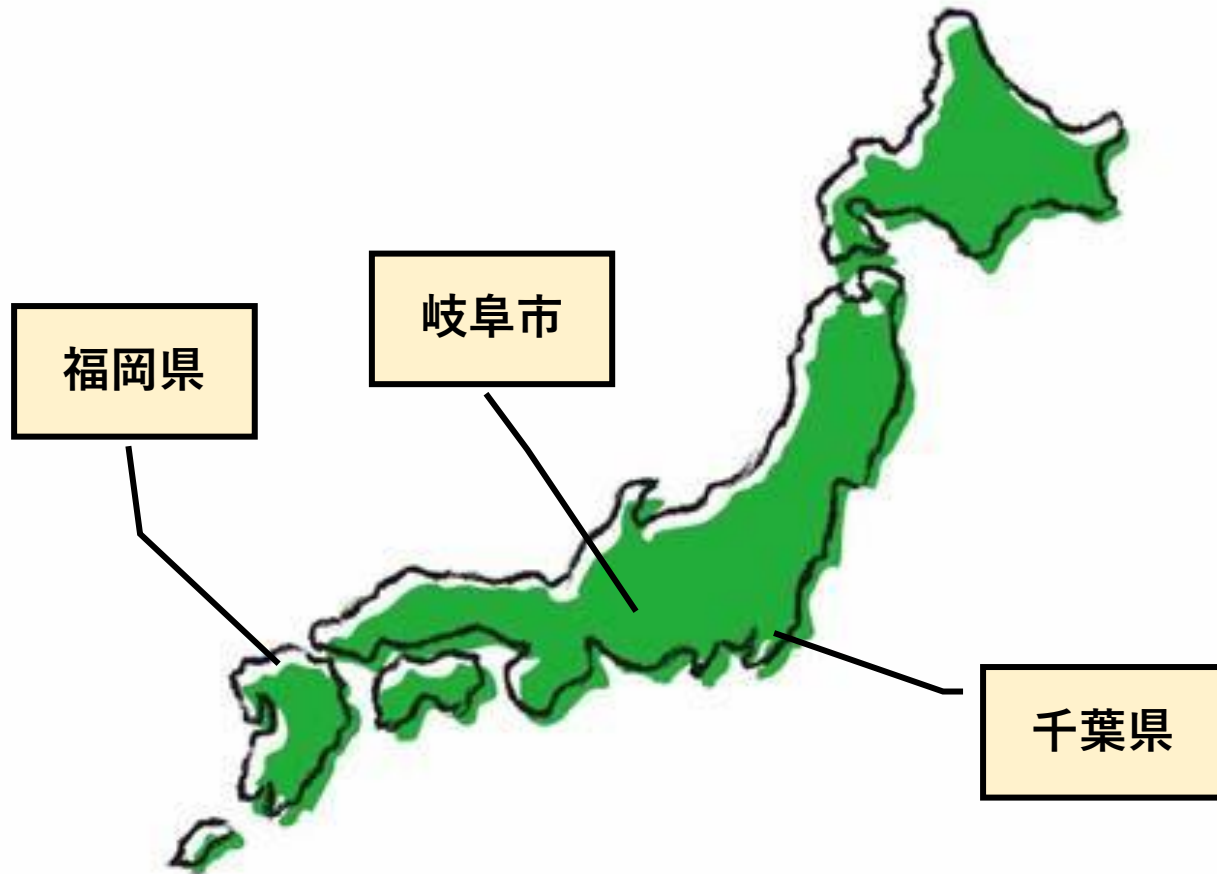
[https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/work\\_diversity](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/work_diversity)

# 新就労支援システム

- 少子高齢に加え、現実化していく社会保障増大、労働力不足社会。この喫緊の課題解決に既存のシステムを新たな視点で活用し、個々のQOLを高め、社会に新たな労働力を輩出しようとするプロジェクトがWORK！ DIVERSITY(ダイバーシティ就労)です。その具体的なシステムは、縦割りに展開されている各就労支援事業を横断的に再統合するダイバーシティの機能を有します。ただし、それは新設するものではなく、既存のものを活用する計画です。ベースとなる就労支援機能として対象者別に各種展開される就労支援事業の中で最も整っていると思われる障害者総合支援法における就労移行支援事業および就労継続支援A型事業を活用する構想です。現行、このサービスは障害者以外に活用することができませんが、その就労支援の内容は働きづらさを抱える多様な人々に活用できるものと考えられます。

[https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/work\\_diversity](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/work_diversity)

# 構想をもとにモデル事業を3都市で実施



・各地域の特色や支援のネットワーク等により、その展開方法や手法は異なっており、まさに地域独自のモデル事業が個々に展開されている。

・モデル事業から見えてきたメリットや課題は何か？



2023年3月10日  
ダイバーシティ就労モデル事業  
実践報告会

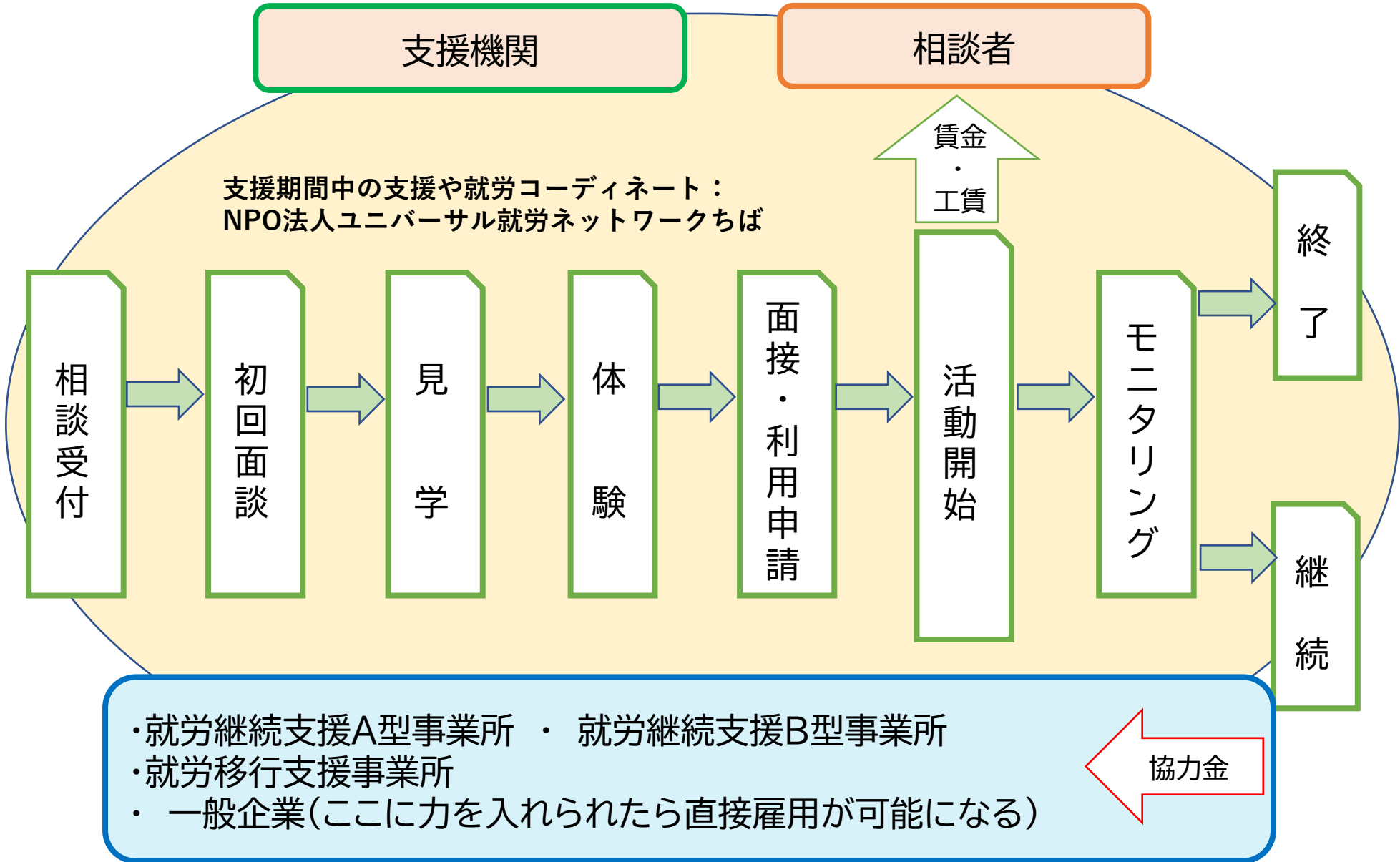
# ダイバーシティ就労 令和4年度実践報告

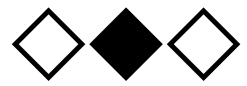
～実績・成果と課題～

---

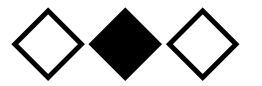
NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば  
ダイバーシティ就労担当 及川・嶺

# 事業のイメージ図





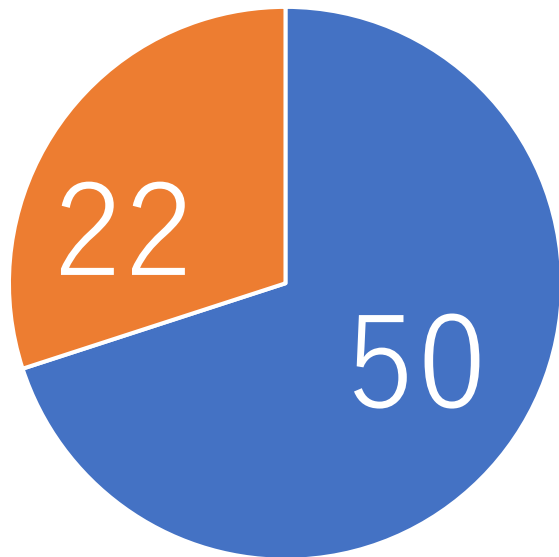
# 支援実績（令和4年9月～令和5年3月31日）



## 初回面談72件

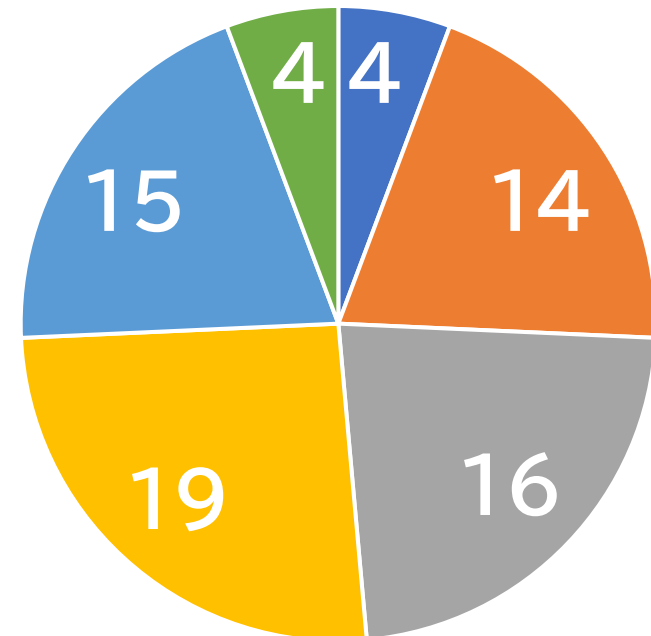
（相談・問い合わせ140件）

男女別



■ 男 ■ 女

年齢別



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

◇◆◇支援機関別・初回面談◇◆◇

自立支援機関	26
中核センター	16
若者サポートステーション	12
被保護就労支援	8
就労移行支援事業所	5
B型事業所	2
A型事業所	1
行政・障害窓口	1
基幹相談支援センター	1

松戸 4  
 柏 4  
 白井 2  
 印西 2  
 我孫子 1

成田 2  
 佐倉 2  
 四街道 2  
 富里 1  
 香取 1  
 旭 1  
 匝瑳 1

千葉 2  
 習志野 2  
 市川 3  
 船橋 2  
 鎌ヶ谷 1  
 浦安 2  
 1

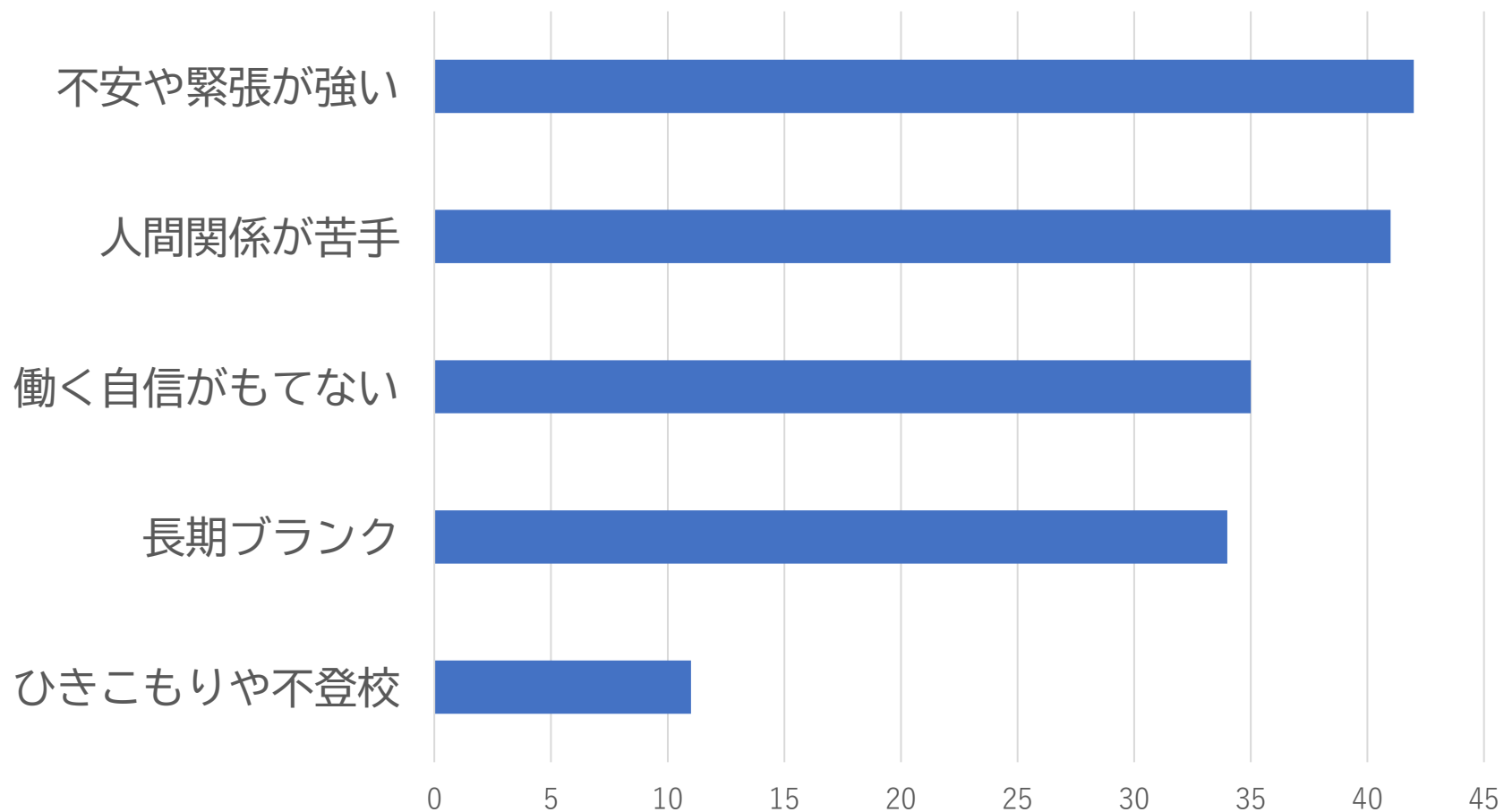
館山 4  
 君津 2  
 市原 1  
 鴨川 1

勝浦 3  
 白子 2  
 いすみ 2  
 茂原 1  
 九十九里 1  
 長生 1





## 働くうえで心配なこと（初回面談時間き取り）



その他：腰痛・通勤時間・頭痛・雑談、話すことが苦手・心が疲れて朝起きられない  
面接・スケジュール管理・通院との両立が不安・めまいを起こしやすい・体力  
職種・忘れる、電話ミス・持病・一日働けるか・仕事が覚えられるか、ミスが多い  
何が出来るかわからない

🔍 事業所見学

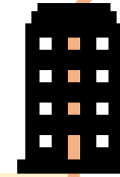
78件

登録事業所数

123件

↓  
体験実習

50件



A型事業所

31件

B型事業所

39件

移行支援事業所

43件

一般企業

10件

↓  
就労・通所開始

44人

A型事業所 . . . 12人

→ 2人終結

- ・ 一般就労（就労後退職）
- ・ 福祉サービス利用（継続利用）

B型事業所 . . . 25人

→ 2人終結

- ・ 福祉サービス利用（継続利用）
- ・ 就労意欲低下、生活状況見直し

就労移行 . . . 5人

一般企業 . . . 2人

→ 2人終結

- ・ 直接雇用
- ・ 体調不良により中断

# ◇◆◇事例紹介◆◆◇

## 20代男性・生困

大学卒業後就労歴なし。持病あり。対人不安強い

→B型事業所、週5日4時間通所開始

・1か月後「今まで自分の将来を考えたことがなかったが、考えなければと思うようになった」

→B型利用継続しつつ、就労準備で短期のアルバイトや単発の派遣の仕事を体験することをサポート

## 30代男性・中核

統合失調症の疑いで通院。働く自信がもてない

→A型事業所、週5日就労開始

「家族がいるので収入面が不安だが、この働き方なら続けられる。長く働き続けるためには手帳取得も視野に」

## 30代男性・生困

いつの間にか、社内でトラブルになり離転職を繰り返した

→移行事業所、週5日通所開始

「1か月通ってみて、ここが居心地が良く、色々な相談が出来ている。もしかしたら手帳など福祉サービス利用することが自分にはあっているのかもしれない」

## 50代女性・生困

体調不良があり、体力的に働けるか不安

→B型事業所、週4日4時間通所開始

「調理補助の仕事を体験して、体力に自信をつけ資格を取り、高齢施設で働きたい」

## 10代女性・中核

定時制高校在学。進学資金を貯めたいが、コンビニのアルバイトは2日で断念

→一般企業、週2日3時間就労開始

「楽しい、ここで続けたい」→2月からアルバイトで採用。会社からも頼られる存在に

## 20代男性・サポステ

高校卒業後、社会に出るのが怖く就活せず。以前発達検査をしたがグレーであった

→A型事業所、週5日就労開始

「出来ないことは教えてもらえば怒られないので安心、施設外へも行ってみたい」

# 成果と課題

---

- ・各支援機関のDWに対する理解が高く、初回面談やその後の支援の連携がスムーズ  
→相談者の障害福祉サービス利用への抵抗が低いことに繋がっている（説明用チラシを準備）
- ・社会に出ることが怖い、今の自分が働けるのか不安、コミュニケーションが苦手などの課題に対して  
→各事業所には働くことを支援するスタッフがいる  
→事前に、見学、体験が出来ることから“まず行ってみよう” “やってみよう” という声掛けが出来る
- ・各事業所の個々に寄り添った支援により、利用者が安心して通所出来る。  
それにより、課題に向き合うなど次のステップに進める
- ・DW利用することにより、障害福祉サービスへつながる人が半数位（理解が進む、働き続けるために）
- ・当初は7か月間（3月まで）の支援としてスタートしたが、継続した場合の期間の設定が難しい
- ・有期の事業のため、モニタリングを重ねながら出口を意識した支援となるが、一般就労へのハードルは高いと感じる。理解のある職場という観点で企業開拓まで出来るとよりよい事業になると感じる。